

2024年7月21日 奥飛騨 高原川沢上谷（ソーレ谷）

メンバー L 谷内、岩田、伊藤、森田、村中

ソーレ谷、沖縄を思い起こす名前だが、漢字で書くと沢上谷。場所は飛騨の山奥にある。これで梅雨明けになりそうな暑い日曜日となった。沢の難易度はこの2年の中では優しい方だが、常に良い景色が続く。支流も10分くらい歩けば大きな滝を見ることができてミドコロ感が漂う。欲を言えば、もう少し難しさが欲しいけれど、久しぶりに晴れた日曜日には平和な沢登りがよい。

5時に集合し7時半に入渓点に到着した。一台をデポして8時に出発した。入渓点近くに駐車場があり、沢装備で行動開始した。踏み跡のある林道を5分くらい歩いてから、やや急な崖を降りて入渓した。すぐ左手にわき沢を認め、その奥には見応えのある滝があると知っていたので、期待しながら進む。枝沢入口の印象からは想像もできないくらい立派な滝があった。

本流に戻り間もなく次の二俣に到着した。こちらも良い滝があると案内を受けていた。15分くらいで大きな滝に遭遇した。支流入口の水量は少なかったが、予想に反して大きな滝。マイナスイオンという名の水飛沫を浴びながら記念写真を撮影し引き返す。

何か困難が欲しいと思っていたら訪れました。M隊員のフェルトソールが剥がれました！隊長の迅速的確なテーピング処置で計画を続行できました。剥がれてきたテープを適宜ナイフで切りながら、追加のテーピングを3回。特にトラブルなく脱渓。

コースタイム

8:00 入渓点駐車場 - 8:05 五郎七郎滝分岐 - 8:20 五郎七郎滝 - 9:15 岩筒滝分岐 - 9:15 岩筒滝 - 10:10 蓑谷大滝 - 10:30 高巻き（杣道） - 10:55 15m ナメ滝 - 11:40 脱渓 - 11:43 駐車場







